



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社タケエイ 上場取引所 東
 コード番号 2151 URL http://www.takeei.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部 光男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 上川 毅 (TEL) 03 (6361) 6871
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	9,035	7.1	650	38.2	623	45.2	316	42.9
2020年3月期第1四半期	8,439	14.4	470	126.5	429	—	221	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 389百万円(53.3%) 2020年3月期第1四半期 254百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	13.71	—
2020年3月期第1四半期	9.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	85,190	28,707	32.2
2020年3月期	80,257	28,270	34.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 27,443百万円 2020年3月期 27,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	18,330	3.3	1,000	△30.3	890	△29.2	430	△36.8	18.65
通期	41,000	8.7	3,400	3.1	3,150	4.1	1,770	0.3	76.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	24,552,000株	2020年3月期	24,552,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,499,304株	2020年3月期	1,499,304株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	23,052,696株	2020年3月期1Q	23,030,111株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」) をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)における我が国経済は、1月頃から新型コロナウイルス感染症の爆発的流行に伴って雇用・所得環境が悪化することで急減速しました。また、5月下旬の緊急事態宣言の解除以降も収束の見通しは立たず、依然として不透明感が続いております。設備投資も、このコロナ禍を受けて企業収益が減少したことにより、先送りや規模縮小の動きが出ております。

当社グループと関連の高い建設業界については、新設住宅着工戸数は、コロナ禍による経済活動の停滞が影響して4月、5月は前年同月比で大きく落ち込み、その後の持ち直しも小幅にとどまっております。建設工事受注は前期に引き続き減少傾向が見られるものの、依然として底堅く推移している公共投資を背景に、公共工事は増加しています。

このような状況下、当社グループは、主力の廃棄物処理・リサイクル事業においては、建設廃棄物の排出動向が売上高及び損益に与える影響は大きいものの、主要顧客である大手建設会社の工事進捗状況を見る限り、新型コロナウイルス感染拡大の業績に与える影響は今のところ軽微なものとして判断しております。またグループ経営方針としての廃棄物の再資源化の具体化を進めるべく、グループ各社の中間処理工場及び最終処分場における受入体制を万全にし、収益機会を取りこぼすことなく取り組みを続けており、中でも株式会社タケエイの業績が順調に推移し、前年同四半期を上回る売上高及び営業利益を確保し、グループ業績を牽引しました。

再生可能エネルギー事業においては、先行する東北地方3発電所の好調な業績が寄与しました。株式会社タケエイグリーンリサイクルは、5月1日に株式会社横須賀バイオマスエナジーを吸収合併し、一体的な燃料材の受入・リサイクル体制を強化しております。なお、これに伴い前期まで廃棄物処理・リサイクル事業に含めておりました株式会社タケエイグリーンリサイクルは、再生可能エネルギー事業に含めております。

環境エンジニアリング事業においては、新型コロナウイルス感染拡大収束の不透明感が続く経営環境下にあります。環境コンサルティング事業と共に、廃棄物処理・リサイクル事業、再生可能エネルギー事業との相乗効果を図る製品開発、研究技術開発にも積極的に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,035百万円(前年同四半期比7.1%増)、営業利益は650百万円(前年同四半期比38.2%増)、経常利益は623百万円(前年同四半期比45.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は316百万円(前年同四半期比42.9%増)となりました。

<廃棄物処理・リサイクル事業>

株式会社タケエイについては、再開発やインフラ整備に伴う受注が順調に推移するとともに、採算性を重視したことも寄与し、売上高は堅調に推移しました。また、中間処理工場の安定稼働を維持し、有価物の分・選別強化等の取り組みを継続することで、売上原価率低減を図りました。加えて、福島県内の複数箇所において参画している東日本大震災復興プロジェクトが好調に推移したことも、業績に寄与しました。

その他の廃棄物処理・リサイクル事業においては、株式会社池田商店が、掘り起こし等のスポット案件の好調により増収増益となりました。廃石膏ボードの再資源化事業を行う株式会社ギプロは、搬出先のボードメーカーの生産調整もあり減収減益となりました。株式会社タケエイメタルは、スクラップ市況の低迷等の影響を受け、減収減益となりました。2019年12月に第2管理型最終処分場を開業した株式会社北陸環境サービスは、順調に廃棄物の受入を行った結果、増収増益となりました。株式会社信州タケエイは、中間処理工場への搬入が好調に推移し、増収増益となりました。

<再生可能エネルギー事業>

株式会社津軽バイオマスエナジーは、燃焼効率のよい燃料材を効果的に活用したことなどから、業績が堅調に推移しました。株式会社花巻バイオマスエナジーは、年2回の定期修繕を下期に集約することで稼働日数が増え、増収増益となりました。株式会社大仙バイオマスエナジーは、未利用材の集荷強化と燃料チップの水分管理徹底により増収増益となりました。電力販売の4社は好調を維持しています。株式会社タケエイグリーンリサイクルは増収となったものの、バイオマス比率見直し等に時間を要しており、営業利益確保には至りませんでした。

なお、4月30日付で連結子会社化した市原グリーン電力株式会社は、6月30日がみなし取得日となることから、第2四半期より連結業績に寄与する予定です。

<環境エンジニアリング事業>

主力の環境部門において工事進行基準を採用する複数の大型案件が順調に進捗するとともに、外注部品を内製化することで製造工場における操業度の向上による収益性改善を図りました。また、コロナ禍により営業活動に制約を受けたものの、出張旅費、広告宣伝費等のきめ細かい経費削減に努め、増収増益となりました。

<環境コンサルティング事業>

コロナ禍により営業活動に制約を受けたものの、収益性の良い案件の受注を図るなどの取り組みを強化し、堅調な業績推移となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は85,190百万円(前連結会計年度末比4,932百万円の増加、前連結会計年度末比6.1%増)となりました。

流動資産は19,657百万円(前連結会計年度末比2,192百万円の減少)となりました。これは主に、現金及び預金が1,547百万円、受取手形及び売掛金が691百万円減少したことによります。

固定資産は64,606百万円(前連結会計年度末比7,138百万円の増加)となりました。これは主に、機械装置及び運搬具が2,846百万円、のれんが3,262百万円、建設仮勘定が562百万円増加したことによります。機械装置及び運搬具、のれんの増加は、市原グリーン電力株式会社の子会社化等によるものであり、建設仮勘定の増加は、再生可能エネルギー事業における発電施設建設費用等の発生によるものです。

負債合計は56,483百万円(前連結会計年度末比4,496百万円の増加、前連結会計年度末比8.6%増)となりました。

流動負債は20,900百万円(前連結会計年度末比5,143百万円の増加)となりました。これは主に、短期借入金が5,000百万円増加したことによります。

固定負債は35,582百万円(前連結会計年度末比646百万円の減少)となりました。これは主に、株式会社田村バイオマスイエナジーの補助金受領により圧縮未決算特別勘定が379百万円増加しましたが、長期借入金が1,126百万円減少したことによります。

純資産は28,707百万円(前連結会計年度末比436百万円の増加、前連結会計年度末比1.5%増)となりました。これは主に、非支配株主持分が353百万円増加(市原グリーン電力株式会社他連結の範囲の変更によるもの等)、利益剰余金が48百万円増加(親会社株主に帰属する四半期純利益316百万円による増加及び配当金233百万円による減少等)したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

前回発表時(2020年5月15日)の連結業績予想から修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,492	9,944
受取手形及び売掛金	6,648	5,956
商品及び製品	80	68
仕掛品	1,163	1,323
原材料及び貯蔵品	1,059	1,184
未収入金	1,001	791
その他	414	392
貸倒引当金	△8	△3
流動資産合計	21,850	19,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,678	11,938
機械装置及び運搬具（純額）	11,310	14,156
最終処分場（純額）	3,793	3,697
土地	18,399	18,411
建設仮勘定	8,613	9,176
その他（純額）	395	399
有形固定資産合計	54,192	57,780
無形固定資産		
のれん	228	3,491
その他	547	537
無形固定資産合計	776	4,029
投資その他の資産		
投資有価証券	423	472
退職給付に係る資産	103	115
繰延税金資産	390	646
その他	1,858	1,839
貸倒引当金	△276	△277
投資その他の資産合計	2,499	2,797
固定資産合計	57,468	64,606
繰延資産	939	925
資産合計	80,257	85,190

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,794	1,621
短期借入金	2,962	7,962
1年内償還予定の社債	596	596
1年内返済予定の長期借入金	5,101	5,066
未払法人税等	807	302
機械式立体駐車場関連損失引当金	481	424
修繕引当金	76	85
災害損失引当金	120	78
その他	3,815	4,762
流動負債合計	15,757	20,900
固定負債		
社債	4,821	4,821
長期借入金	27,756	26,630
繰延税金負債	428	428
退職給付に係る負債	362	374
資産除去債務	794	792
役員株式給付引当金	96	101
修繕引当金	36	93
圧縮未決算特別勘定	1,780	2,160
その他	153	181
固定負債合計	36,229	35,582
負債合計	51,986	56,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,640	6,640
資本剰余金	7,186	7,186
利益剰余金	14,785	14,834
自己株式	△1,297	△1,297
株主資本合計	27,315	27,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77	110
退職給付に係る調整累計額	△32	△31
その他の包括利益累計額合計	44	79
非支配株主持分	910	1,263
純資産合計	28,270	28,707
負債純資産合計	80,257	85,190

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,439	9,035
売上原価	6,715	7,011
売上総利益	1,723	2,023
販売費及び一般管理費	1,253	1,373
営業利益	470	650
営業外収益		
受取利息	0	0
受取賃貸料	4	4
持分法による投資利益	11	10
保険解約返戻金	0	14
その他	16	17
営業外収益合計	32	47
営業外費用		
支払利息	42	45
社債利息	0	3
その他	31	25
営業外費用合計	74	74
経常利益	429	623
特別利益		
固定資産売却益	4	4
投資有価証券売却益	2	—
関係会社株式売却益	5	—
特別利益合計	12	4
特別損失		
固定資産売却損	1	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	440	627
法人税等	177	272
四半期純利益	263	355
非支配株主に帰属する四半期純利益	41	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	221	316

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	263	355
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	33
退職給付に係る調整額	0	1
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△8	34
四半期包括利益	254	389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212	350
非支配株主に係る四半期包括利益	41	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。